

市長公室

シビックプライド推進部

観	光		37														
シ	テ	ィ	プ	ロ	モ	ー	シ	ョ	ン		44						
広	聴	広	報		46												
オ	リ	ン	ピ	ッ	ク	・	パ	ラ	リ	ン	ピ	ッ	ク	推	進		49
東	京	事	務	所		50											

観

光

1 観光の概要

本市は、津久井郡4町との合併に伴い、旧相模原市の都市固有の景観やにぎわいなどを楽しむ「都市型観光」に加え、津久井地域の自然、歴史・文化、観光・レクリエーションなどの多様な地域資源を生かした新たな観光交流を創出することで、交流人口の拡大による地域の活性化を促し、魅力的な都市の形成を目指している。

(1) 第3次相模原市観光振興計画

幅広い多種多様な地域の人や組織と連携しながら、地域にある様々な資源を活用して誘客を図ることで、産業の発展、雇用の創出につなげるとともに、国内のみならず、いわゆるインバウンド効果を取り込みながら、海外も含めた交流人口を増やすことを目的として観光振興計画を策定し、推進している。

ア 観光振興計画策定の経過

策定・見直し年月	計画名称	回次
平成14年3月策定	相模原市観光振興計画	1次
平成20年3月策定 (平成26年3月中間見直し)	新相模原市観光振興計画	2次
令和2年3月策定	第3次相模原市観光振興計画	3次

イ 基本理念 「ひと・まち・自然・文化が奏でる観光交流都市 さがみはら」

～住んでよし、訪れてよしのさがみはらを目指して～

ウ 目指すべき将来像

- ① 国内外からの交流人口の増加に伴う、既存産業の発展や新たなビジネスチャンスの創出によって、地域経済の活性化が促進されている。
- ② 地域団体や住民、事業者などが自ら楽しみつつ、観光の担い手となって誘客・交流の取組に参画している。
- ③ 観光客との様々な交流によって、市民が自分たちの暮らす地域の魅力や価値に改めて気がつくことで、シビックプライドの醸成が図られている。

(2) 地域別観光振興計画

地域の観光振興団体が中心となって、地域資源を生かして、観光誘客を推進する地域別観光振興計画の策定及び推進を支援している。

計画名称	エリア名	策定期間	推進開始
小原宿活性化計画	陣馬・高尾山 相模湖	平成18年度	平成19年度
相模川エリア大島・向原・小倉・葉山島地域観光振興計画	相模川	平成22年度	平成23年度
青野原地域観光振興計画	道志川		
青根地域観光活性化計画	丹沢山塊	平成23年度	平成24年度
津久井中央地域観光振興計画	道志川		
相模湖湖畔地域観光振興計画	相模湖	平成24年度 平成25年度	平成25年度 平成26年度
津久井湖周辺地域観光振興計画	津久井湖城山		
城山湖周辺地域観光振興計画	津久井湖城山	平成25年度	平成26年度
藤野北部地域観光振興計画	陣馬・高尾山	平成26年度	平成27年度
藤野南部地域観光振興計画	牧野里山	平成27年度	平成28年度
藤野中部地域観光振興計画	相模湖		

2 さがみはらのまつり

【潤水都市さがみはらフェスタ】

本市のシティプロモーションの推進を目的としたシンボリックイベントとして、「はやぶさの故郷」をテーマに行っている。

【さがみはらスイーツフェスティバル】

スイーツを通じて相模原市の魅力を市内外に広く発信するとともに、新たな観光資源の開発を目的に行っている。

【相模原市民まつり】

(1) 相模原市民桜（若葉）まつり

昭和 49 年に市制施行 20 周年を記念し市民のふるさとづくりをテーマに、市役所前通りの桜並木を生かして始められた市民団体の参加を中心としたまつりで、毎年 4 月の下旬（若葉まつりの年は 5 月中旬）に、市民の手づくりによる催し物やパレードなどを 2 日間にわたり盛大に行っている。

(2) 城山もみじまつり

昭和 51 年に市民相互の協力により、ふれあいの場を創り上げ、郷土意識の高揚を図ることを目的として立ち上げたまつりで、ステージでの演奏や舞踊、模擬店、特産品の販売など盛り沢山の催しが行われている。

(城山まちづくりセンター)

(3) 津久井やまびこ祭り

昭和 61 年に商工会青年部を中心に、地域のふれあいや、都市地域住民とのふれあいを深め、新たな産業の創出、また観光振興を図ることを目的として始められたまつりで、特産品展、フリーマーケットなどで賑わっている。

(津久井まちづくりセンター)

(4) 相模湖ふれあい広場

商工会青年部が、市民相互のふれあいの場を提供する目的で立ち上げたまつりで、ステージでの演奏や舞踊、模擬店、特産品の販売など盛り沢山の催しが行われている。

(相模湖まちづくりセンター)

(5) 藤野ふる里まつり

昭和 58 年に善意と友情に基づき各種団体・行政が一体となって明るく楽しく開催することを目的として始められたまつりで、ステージでの演奏や舞踊、模擬店、特産品の販売などが行われている。

平成 20 年より「太陽の市場（ふじの産業まつり）」から「藤野ふる里まつり」に名称を改めた。

(藤野まちづくりセンター)

【観光行事】

(1) 相模の大凧まつり

5 月 4、5 日に新磯地区で行われる江戸時代から続く伝統行事で、最大で一辺の長さ 8 間（約 14.5m）もある「相模の大凧」が春風に乗り大空に舞い上がる壮観さは、まさに日本一である。

詳細は南区役所の「観光行事」の欄に掲載

(2) 上溝夏祭り

上溝に江戸末期から伝わる伝統あるまつりで、7 月下旬の土・日曜日に開催されている。上溝商店街通りを中心に、御輿 17 基、山車 8 台が繰り出す勇壮なまつりである。(昭和 57 年「かながわのまつり 50 選」に選定)

詳細は中央区役所の「観光行事」の欄に掲載

(3) さがみ湖湖上祭花火大会

相模湖誕生後に始められた花火大会で、湖に関係して亡くなられた方々の慰霊と湖の安全を祈願し、8 月 1 日に開催されている。打ち上げ数は約 4,000 発。周囲が山に囲まれているので、音が身体に響き、光は湖面に映え、素晴らしい音と光の芸術を繰り広げる。(昭和 57 年「かながわのまつり 50 選」に選定)

詳細は緑区役所の「観光行事」の欄に掲載

(4) 橋本七夕まつり

昭和 27 年に橋本地区商店街の活性化、振興を目指して始められたもので、8 月上旬の金曜日から日曜日に橋本七夕通りを中心に色鮮やかな竹飾りが数多く並び、趣向を凝らした出し物が通りにあふれる華やかなまつりである。(昭和 57 年「かながわのまつり 50 選」に選定)

詳細は緑区役所の「観光行事」の欄に掲載

(5) 相模原納涼花火大会

昭和 26 年に「水郷田名」の復興を願って灯籠流しとともに花火が打ち上げられたのが始まりで、相模川高田橋付近の河畔で開催されている。令和 2 年度は、日時会場の非公開や無観客といった新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じて開催された。

詳細は中央区役所の「観光行事」の欄に掲載

【地域活性化イベント】

(1) 津久井湖さくらまつり

平成 10 年に水源地の環境保全や地域経済及びレクリエーションの振興を目的として始められたまつりである。3 月下旬～4 月上旬に桜の名所である県立津久井湖城山公園において、ステージイベント、特産品販売、フリーマーケットなどが開催される。

(津久井まちづくりセンター)

(2) 相模川芝ざくらまつり

平成16年に始められたまつりで、新磯地区の相模川河川敷を会場に4月上旬から中旬にかけて開催される。この芝ざくらは、「新戸相模川芝ざくら保存会」・「相模川芝ざくら下磯部愛好会」が中心になり植栽したもので、約1.4kmにわたる植栽延長は日本一の規模である。

詳細は南区役所の「地域活性化イベント」の欄に掲載

(3) 相模湖やまなみ祭

県立相模湖公園をPRし、公園に親しんでもらうことを目的に始められたまつりで、「環境にやさしい人・もの」「ふれあい・交流」をテーマに、音楽祭、フリーマーケット、流木チップの無料配布等を行っている。

(相模湖まちづくりセンター)

(4) 相模湖ダム祭

森と湖に親しみ、心身をリフレッシュするとともに、神奈川県の水源の一つである相模湖の重要性についての理解を深めることを目的として始められた。発電所や相模ダムの見学などを行っている。

(相模湖まちづくりセンター)

(5) 小倉橋灯ろう流し

かながわの景勝 50 選の小倉橋のたもとで、様々な願いを込めた灯ろう約 700 個が相模川に流される。ライトアップで浮かび上がった美しいアーチ型の小倉橋とともに幻想的な雰囲気が漂う。

(城山まちづくりセンター)

(6) 東林間サマーわぁ！ニバル

平成 4 年に地域の振興と交流を目的に始められた阿波踊りを中心としたまつりである。地元東林間の阿波踊り連はもとより、本場徳島や高円寺などからも参加があるほか、来場者も「にわか連」に参加できる。

詳細は南区役所の「地域活性化イベント」の欄に掲載

(7) 城山夏まつり

毎年、8 月の第 4 土曜日、日曜日に開催されている歴史と伝統の川尻八幡宮の夏祭りで、神輿や山車が地区内を練り歩く。「かながわのまつり 50 選」にも選ばれている。

(城山まちづくりセンター)

(8) 相模原よさこいRANBU!

平成 11 年に始められたエネルギッシュなダンスイベントである。よさこい踊りの伝統と個性的な創作ダンスの新鋭さが織り成すまつりで、古淵駅前通り周辺はリズムカルな音楽と表現豊かなチームダンスの熱気であふれる。

詳細は南区役所の「地域活性化イベント」の欄に掲載

(9) 甲州街道小原宿本陣祭

小原宿本陣は、県内で唯一現存する本陣であり、まつりを通して本陣とその時代を再認識し後世に引き継ぐこと、地域の活性化を図ることを目的に開催されている。甲州街道での大名行列のほか、本陣太鼓、大名茶会、ステージイベント、民具の展示などが多彩に展開されている。

(相模湖まちづくりセンター)

(10) おおさわ桜まつり

平成 11 年に市民の文化向上と親睦を図るため始められたまつりで、大沢地区の桜の名所である相模川自然の村公園を会場に、毎年 4 月上旬に開催されている。芸能や模擬店、各種体験コーナーのほか、提灯が照らす美しい夜桜が楽しめる。

(大沢まちづくりセンター)

(11) 大野北銀河まつり

大野北地区のシンボルパークとも言える鹿沼公園で、大野北銀河まつりが例年開催されている。ダンスや歌などの発表を通じて誘客を図るとともに、地域住民や関係団体で構成した実行委員会によるイベントの企画や準備の過程を通じて、人と人との繋がりを強め、地域コミュニティの醸成に寄与している。

詳細は中央区役所の「地域活性化イベント」の欄に掲載

【観光宣伝行事】

(1) さがみはら菓子まつり

市内で製造販売されている和・洋菓子、パン菓子約 50 点、工芸菓子(菓子の材料で作った作品)約 10 点が展示される。また、菓子作りの実演や即売なども行われている。

(2) 相模原市菊花競技会

10 月下旬から 11 月中旬にかけて市立相模原麻溝公園を会場にして実施している。相模原親菊会の会員が心を込めて育てた、厚物、管物、三本立て盆養や懸崖、小菊、福助づくりなど、色とりどりの大輪の菊が市民の目を楽しませる秋の風物詩である。

〔令和 2 年度 相模原市民まつり・観光行事・地域活性化イベント・観光宣伝行事開催状況〕

種別	名 称	開催時期	概 要
	さがみはらスイーツフェスティバル 2020 「推し土産スイーツ総選挙受賞品 PR」 イベント	11 月 21 日・22 日	販売会会場：アリオ橋本グランドガーデン 内容：販売会
	つながろう！さがみはらフェスタ 2020	11 月 14・15 日	新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催
市民まつり	第 47 回相模原市民桜まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第 44 回城山もみじまつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第 35 回津久井やまびこ祭り		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第 33 回相模湖ふれあい広場 2020		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第 13 回藤野ふる里まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止

観光行事	令和2年相模の大風まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	令和2年上溝夏祭り		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ中止
	さがみ湖湖上祭花火大会		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ中止
	第69回橋本七夕まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第49回相模原納涼花火大会		新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じて日時等非公開で開催
地域活性化イベント	第23回津久井湖さくらまつり(花の苑地)		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第23回津久井湖さくらまつり(水の苑地)		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第16回記念相模川芝ざくらまつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第23回相模湖やまなみ祭		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第27回相模湖ダム祭		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第21回小倉橋灯ろう流し		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第29回東林間サマーわぁ！ニバレ		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第13回城山夏まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第18回相模原よさこいRANBU！		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第27回甲州街道小原宿本陣祭		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第22回おおさわ桜まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第32回大野北銀河まつり		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
観光宣伝行事	第36回さがみはら菓子まつり2020		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	第66回相模原市菊花競技会 表彰式：12月5日（市民会館）	10月25日～ 11月13日	会場：市立相模原麻溝公園 みどりの広場 出品数：221点

3 余暇施設等

(1) キャンプ場（2か所：上大島、望地弁天）

開設期間：3月1日から10月31日までと11月の土・日・祝日

（宿泊期間は7から8月までと9月の土・日・祝日の前日）

（新型コロナウイルス感染症の影響により3月2日～5月31日は閉鎖）

施設内容：テントサイト、炊事場、トイレ、駐車場

年度別利用状況

（単位：人）

キャンプ場別／年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
上大島	43,920	36,960	24,046
望地弁天	6,093	5,404	4,009
合計	50,013	42,364	28,055

(2) 相模川自然の村（清流の里）

豊かな自然環境の中で、市民がゆっくりとくつろげる宿泊施設として、平成8年4月20日に開設した。

施設内容：客室（10室・定員47名）、レストラン、大広間、会議室、カラオケルーム、娛樂室等

（新型コロナウイルス感染症の影響により4月～6月は休館）

年度別利用状況

年 度	H30	R1	R2
定員（人）	16,121	16,121	3,900
利用者数（人）	7,937	7,183	1,546
利用率（％）	49.2	44.6	39.6
稼働可能客室数（室）	3,430	3,430	1,950
客室稼働数（室）	2,761	2,483	766
客室稼働率（％）	80.5	72.4	39.3

（３）相模の大風センター

詳細は南区役所の「観光施設」の欄に掲載

（４）風と花の観光休憩所あらいそ

詳細は南区役所の「観光施設」の欄に掲載

（５）城山湖散策施設

城山湖を一周する散策路と、東屋などの休憩施設や駐車場、管理棟などが整備されている。

開場時間：午前９時から午後５時（冬季は午後４時まで）

休 場 日：なし

施設内容：散策路（約５km）、休憩所、野鳥観察棟、管理棟、トイレ、駐車場

年度別利用状況： 令和２年度 32,370 人（令和元年度 34,500 人）

（城山まちづくりセンター）

（６）緑の休暇村センター

いやしの湯に隣接し、道志川沿いの豊かな自然環境の中で、宿泊や研修に利用でき、テニスも楽しめる施設である。

開設時間：午前９時から午後９時（宿泊の場合は、午後３時から翌日の午前１０時まで）

（テニスコートは、午前９時から午後５時まで）

休 館 日：毎週火曜日（祝日・振替休日の場合は、その翌日）、１２月２８日から翌年１月４日まで

施設内容：宿泊室６室、食堂、コテージ３棟、テニスコート２面など

年度別利用状況：令和２年度 900 人（令和元年度 3,027 人）

（緑区役所区政策課）

（７）青根緑の休暇村 いやしの湯

檜（ひのき）風呂、岩風呂や山々の緑を眺めながら、ゆったりと過ごせる露天風呂などを備えた施設である。

開設時間：午前１０時から午後９時

休 館 日：毎週火曜日（祝日・振替休日の場合は、その翌日）、１２月３１日、１月１日

施設内容：大浴場、露天風呂、サウナ、休憩室など

年度別利用状況：令和２年度 51,133 人（令和元年度 82,679 人）

（緑区役所区政策課）

（８）相模湖記念館

相模ダム建設事業の意義を次代に伝え、「水」・「電気」について体験して学ぶことのできる施設である。

開館時間：午前９時から午後５時

休 館 日：毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は、その翌日）、１２月２９日から翌年１月３日まで

施設内容：水・電気に関する説明と体験コーナー、写真展示（県立相模湖交流センターと併設）

年度別利用状況：令和２年度 212 人（令和元年度 8,022 人）

（緑区役所区政策課）

(9) 小原の郷

小原地域の優れた自然環境及び小原宿本陣に保管されていた古文書その他の文化財を生かした観光拠点として地域の活性化を図るとともに、市民の交流に寄与する施設である。

開館時間：午前9時30分から午後4時30分まで

休館日：毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は、その翌日）、12月29日から翌年1月4日まで

施設内容：多目的展示室、特別展示室、トイレ、テラス

年度別利用状況：令和2年度 4,637人（令和元年度 7,558人）

（相模湖まちづくりセンター）

(10) 藤野やまなみ温泉

源泉かけ流し風呂、露天風呂などを備えた日帰り温泉施設である。

開設時間：午前10時から午後9時

休館日：毎週水曜日（祝日・振替休日の場合は、その翌日）

施設内容：内風呂、露天風呂、サウナ、休憩室、食堂など

年度別利用状況：令和2年度 44,273人（令和元年度 100,579人）

（緑区役所区政策課）

(11) 観光案内所

観光交流の玄関口として相模湖駅及び藤野駅に観光案内所を整備し、地域特性を生かした情報提供を推進している。

名 称	愛 称	開 所 日	年度別利用状況		
			H30	R1	R2
相模湖観光案内所	—	平成21年3月29日	19,519人	16,202	7,218
藤野観光案内所	ふじのね	平成21年3月29日	30,334人	28,840	16,000

開所時間：午前8時30分から午後5時

休所日：年末年始（12月29日から翌年1月3日）ほか

施設内容：観光案内ルーム（特産品の紹介・販売、パンフレット配布）、公衆トイレ（藤野のみ）など

（緑区役所区政策課）

4 水源地域交流の里づくり事業（上下流域自治体間交流事業）

やまなみ五湖の水を飲料水として利用している下流域の住民に、水源地域への理解を深めてもらうために上下流域の自治体が協力して事業を実施している。

〔令和2年度水源地域交流の里づくり事業（上下流域自治体間交流事業）〕

名 称	開催時期	概 要
中道志川あゆ釣り体験教室（座間市）	6月	新型コロナウイルスまん延防止のため中止
川遊びと竹細工教室（伊勢原市）	7月下旬～8月下旬	新型コロナウイルスまん延防止のため中止
相模ダム見学とカヌー教室（厚木市）	—	新型コロナウイルスまん延防止のため中止
宮ヶ瀬ダム見学&陶芸教室（厚木市）	8月	新型コロナウイルスまん延防止のため中止
城山発電所見学とコスモス花摘・押し花体験（伊勢原市）	10月	新型コロナウイルスまん延防止のため中止

（津久井まちづくりセンター、城山まちづくりセンター、相模湖まちづくりセンター、藤野まちづくりセンター）

5 その他

(1) 相模原市観光協会への支援

「新相模原市観光振興計画」に基づき「一般社団法人相模原市観光協会」へ支援を実施している。平成30年度は主に、5年間（平成30年度～令和4年度）の事業方針を取りまとめた「（一社）観光協会5ヶ年計画」の着実な実施に向けて、必要な助言・指導及び支援を行った。

(2) 相模原フィルム・コミッション事業の推進

観光振興、地域振興及び地域経済の活性化を図るとともに、シティセールスを行うため、「相模原フィルム・コミッション」を設立し、国内外の映画、TV ドラマや CM 等のロケーション撮影や映像関連産業の誘致支援活動を推進している。

〔令和2年度主な実績〕

ドラマ ・「青天を衝け」：相模川河川敷 ・「にじいろカルテ」：藤野地区
・「ゲキカラドウ」：相模大野中央公園 ほか

(3) インバウンド（訪日外国人観光客）対応事業の推進

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における訪日観光需要の増加に対応するため、広域関東1都10県で取組む「広域観光周遊ルート形成事業」に参画し、八王子市をはじめとする近隣都市との連携を図り、ウェブサイトの構築やイベントプロモーションを実施した。

【観光・シティプロモーション課、緑区役所区政策課、緑区役所地域振興課、大沢まちづくりセンター、城山まちづくりセンター、津久井まちづくりセンター、相模湖まちづくりセンター、藤野まちづくりセンター、中央区役所地域振興課、南区役所地域振興課、】

シティプロモーション

1 シティプロモーションの推進

「人や企業に選ばれる都市」を目指して、本市の魅力を戦略的・効果的に発信し、認知度向上や定住促進を図るためのプロモーション事業を実施した。

(1) シビックプライド向上事業

シビックプライドの向上を目的とした「さがみはらみんなのシビックプライド条例」を制定したほか、市民の市への誇り及び愛着を醸成するための事業を実施した。

ア 「さがみはらみんなのシビックプライド条例」の制定

シビックプライドに関する条例の制定について、オープンハウスや中・高校生へのアンケート等により市民意見を聴取した。また、市民、学識経験者等で構成する検討委員会へ諮問し、条例（案）の骨子について答申されたことから、シビックプライドの向上を目的とした「さがみはらみんなのシビックプライド条例」を制定した。（検討委員会：4回開催）

イ さがみはらファンサイト「Sagamihara FAN FUN FAN」の運営

本市の多彩な魅力を発信することにより、本市に共感する方々を増やし、市民の一体感と誇り、愛着を醸成することを目的としたインターネット上の交流サイト「Sagamihara FAN FUN FAN」を運営した。

(2) 好意的認知度向上事業

本市にゆかりのある有名人を起用したシティプロモーションや、市マスコットキャラクターさがみんの活用などを通して、本市の好意的認知度の向上及び愛着の醸成を図るためのPRを実施した。

ア 新型コロナウイルス感染症に係る「新しい生活様式」の普及促進動画の配信

本市出身のシンガーソングライター磯貝サイモン氏を起用し、「新しい生活様式」の普及促進と本市の魅力スポットを紹介する動画を作成し、市内外に広く発信した。

【動画視聴回数】407,636回（配信期間：1/29～2/21）

イ さがみはらドリームマッチでのブース出展

さがみはらドリームマッチでブースを出展し、来場者へ本市の魅力をPRした。

(3) 居注意喚起事業

「ふるさと回帰フェア 2020」への参加

都心部からの移住を検討している方が集まる国内最大のオンライン移住マッチングイベントに参加した。

(4) 民間企業等との連携による魅力発信・啓発事業

住まい探しサイトでの本市 PR

住宅購入者または転居検討者に向けた情報発信を行うことで、本市のイメージ向上を図り、子育て世帯の転入・定住促進に繋げることを目的に、「相模原で始める『新しい暮らし方』」をテーマとした相模原市の PR ページを制作し、不動産情報サイト「SUUMO」内で公開し、ターゲティング広告を配信した。

【PR ページアクセス数】7,352 件（広告配信期間：令和 2 年 12 月 3 日～令和 3 年 2 月 28 日）

(5) SNSによる情報発信

本市の魅力や話題をツイッター、フェイスブック及びインスタグラムを活用し情報発信した。

(6) 銀河連邦

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設が縁でユーモアとパロディの精神で組織された連邦国家（秋田県能代市・岩手県大船渡市・神奈川県相模原市・長野県佐久市・鹿児島県肝付町・北海道大樹町・宮城県角田市）が、共和国間相互で経済、教育、スポーツ、福祉等、多様な交流を通じ、友好の絆を深めた。

サガミハラ共和国の主な事業

※：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事業名	実施日	場所	参加者数(人)
相模原市民桜まつり 銀河連邦物産展・JAXA ブース	※	サガミハラ共和国 市体育館駐車場ほか	—
はやぶさの日イベント (オンライン絵画コンテスト)	5月15日～7月26日	サガミハラ共和国	75
銀河カップ少年サッカー大会選手派遣	※	サク共和国	—
銀河連邦子ども留学交流参加者派遣	※	タイキ共和国	—
三陸・大船渡夏まつり特使派遣	※	サンリクオオフナト共和国	—
阿武隈リバーサイドマラソン大会 選手派遣	※	カクダ共和国	—
「JAXA 相模原キャンパス特別公開」 銀河連邦物産展	※	サガミハラ共和国 JAXA 相模原キャンパス	—
さがみはらフェスタ 銀河連邦物産展・JAXA ブース	※	サガミハラ共和国 在日米陸軍相模総合補給廠 一部返還地	—
障害者バスレクリエーションりんご狩り	※	サク共和国	—
うちのうら銀河マラソン大会選手派遣	※	ウチノウラキモツキ共和国	—
第5回宇宙フェスタさがみはら	※	サガミハラ共和国 市立博物館	—
佐久市民スケート大会兼銀河連邦星の 町スピードスケート親善大会選手派遣	※	サク共和国	—
銀河連邦フォーラム特使派遣	※	サク共和国	—
「はやぶさ2」カプセル帰還 パブリックビューイング	12月5日～6日	サガミハラ共和国 市立博物館	415
「はやぶさ2」帰還カプセル公開	3月12日～16日	市立博物館	4,624

広 聴 広 報

1 広報活動

(1) 文書などによる広報

ア 広報さがみはら

市からのお知らせ・情報等を市民に周知するため、月2回(1日、15日)、タブロイド版を発行し、新聞折り込みや、公共施設・鉄道駅・商業施設等における配架、ポスティングにより配布した。令和2年度は1回平均約19万部発行

イ 声の広報さがみはら

視覚障害者などを対象にCDを月2回発行し、希望者に郵送した。また、図書館等にも貸出用として配布した。令和2年度は1回平均108枚発行

ウ 点字版広報さがみはら

視覚障害者などを対象にB5版約120ページを月2回発行し、希望者に郵送した。また、図書館等にも貸出用として配布した。令和2年度は1回平均39部発行

エ ポケットデータさがみはら

統計数値を中心に、市の概要をコンパクトにまとめて発行した。年1回、9,000部発行

(2) 視聴覚広報

ア テレビ広報

(ア) 生放送番組/テレビ神奈川

番組名 「猫のひたいほどワイド」中の「猫ひたインフォ」

内 容 市のお知らせ、催し物などを紹介した。

放送日 第1・3水曜日、午後1時10分頃から約3分間放送

(イ) 相模原市広報番組/ジェイコム湘南・神奈川

番組名 「ぞっこん! 相模原」

内 容 市のおすすめスポットやイベントなどを紹介した。

放送日 毎週火・土曜日の午後8時、毎週木曜日の午後0時に5分間放送

(ウ) 相模原市特別番組/テレビ神奈川

番組名 「ニュースハーバー」中の「特集コーナー」

内 容 「はやぶさ2」地球帰還をテーマに、「はやぶさ2」のミッションの紹介、JAXAプロジェクトマネージャのインタビュー、帰還当日に向けてのイベントを紹介。

放送日 令和2年12月4日(金) 午後6時~6時30分

番組名 「市長と語る 2021年のさがみはら~「はやぶさ2」帰還、そして新たな旅へ~」

内 容 「はやぶさ2」のミッションや、帰還に向けてミッションを支えた人々、そして、新たな「はやぶさ2」の旅の紹介を通じ、はやぶさの故郷である相模原市のPRを行うとともに、相模原市の2021年の展望について、市長よりメッセージを発信した。

放送日 令和3年1月1日(金・祝) 午前11時~11時15分

(エ) データ放送/テレビ神奈川

内 容 広報さがみはら掲載記事などを、テレビ神奈川のデータ放送画面で配信した。

放送日 原則、1日・15日に更新し、随時配信

(オ) 文字放送/ジェイコム湘南・神奈川

内 容 広報さがみはら掲載記事などを、J:COMのデータ放送画面で配信した。

放送日 原則、1日・15日に更新し、随時配信

イ ラジオ広報

エフエムさがみ

番組名 「相模原インフォメーション」

内 容 市の行事や催し物、市政案内などの地域に密着した行政情報を紹介した。

放送日 毎日3回、各5分間

ウ インターネット広報

(ア) 市ホームページ

市民生活に関わる重要なお知らせを随時掲載したほか、市政情報を日々更新した。

また、令和4年度のリニューアルに向け、全ページの解析等を行った。

市ホームページアクセス件数

(単位：件)

区分	令和元年度	令和2年度
トップページ	4,960,448	6,637,285
総ページ	32,718,408	51,220,288

(イ) マイ広報さがみはら

広報紙を記事ごとにデータ化し、スマートフォンアプリから閲覧できる「マイ広報さがみはら」を運用した。

アプリダウンロード件数

(単位：件)

区分	令和元年度	令和2年度
ダウンロード数	1,990	4,697

(ウ) さがみはらチャンネル (YouTube 動画配信)

動画共有サイト「YouTube」を活用して、相模原の魅力を紹介する動画等を配信した。

- ・ 令和2年度末掲載動画数（累計） 1,065 本
- ・ 令和2年度末動画再生回数（累計） 4,706,074 回

(エ) LINE 公式アカウント

防災情報、重要なお知らせ等を随時配信する市 LINE 公式アカウントを運用した。

- ・ 友だち登録人数 24,876 人（令和3年3月末日現在）

(3) その他

ア 報道機関への情報提供

報道機関に市政情報を提供することにより、市政に対する理解を深めてもらうとともに、市のPRを図った。市長記者会見は、定例記者会見を12回、臨時記者会見を8回開催した。また、令和2年度は、記事提供を924件行い、518件が新聞紙上に掲載された。

イ 新聞広告

市政のPRを積極的に進めるため、日刊紙等の紙面に広告記事(市の催しの案内や事業の紹介など)を掲載した。令和2年度は、計4紙に6回掲載した。

ウ 市民カメラマン

例年、公募による市民カメラマンに依頼し、市ホームページ「季節のたより」に掲載する写真の撮影のほか、市民の目で捉えた相模原の行事や風景等を記録写真として撮影しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動休止とした。

エ きょうのニュース

各種日刊紙の相模原市関連記事を切り抜き、特別職、局部長及び所属長に「きょうのニュース」として紙ベースで提供した。

2 広聴活動

(1) 市政に関する世論調査

市民の意識や意向を的確に把握し、市政運営の有効な資料とするため実施した。

令和2年度は、専門の調査機関に委託し、郵送による配布・回収方式で行った。市民3,000人を対象に「まちづくり」「広報紙」「SDGs」「マイナンバーカード」「防災情報の発信」「スポーツの関心や支援」「建物と地震」「自転車の安全利用」の8項目を調査し、回収率は、52.9%であった。

(2) 市政モニター

市政についての意見・提案などを市民から計画的に収集し、施策の企画立案や行政効果の測定などに活用するため実施した。

令和2年度のモニターの内訳としては、インターネットコース28人、郵送コース78人の合計106人であった。

令和2年度は、①「下水道事業の市民意識調査について」、②「防災意識について」、③「動物愛護に係る意識調査について」「相模原駅北口地区のまちづくりに関する市民意識調査について」をアンケートのテーマとした。

(3) ジュニア・市政モニター

次世代を担う子どもたちが市政に関心を持ち、新たな発想で市政に意見や提案を寄せてもらう機会をつくるため実施した。

令和2年度はモニターが170人で、「SDGsについて」「相模原市の広報について」「市に対するイメージについて」をアンケートのテーマとした。

(4) タウンミーティング「まちかど市長室」

市民参加のまちづくりを推進するため、幅広く市民と市長が市政について積極的に意見交換等を行い、今後の市政に反映させるために実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から休止とした。

(5) わたしの提案

「心を大切にふれあいの市政」を推進するため、市民の意見や要望を、市政に反映させる「わたしの提案」制度を実施した。

令和2年度に寄せられた「わたしの提案」は2,844件であった。

(6) 陳情・要望等

各種団体や複数の市民からの陳情・要望等を「わたしの提案」と同様に処理し、その結果を市政の運営に役立てた。令和2年度に寄せられた「陳情・要望等」は、553件であった。

(7) 相模原市コールセンター

市民サービスの向上を図るため、平日の開庁時間はもとより、休日や夜間の閉庁時間にも市民からの市政等に関する問合せや各種事業の申込受付について、一元的に対応した。

概要

1	運営時間	午前8時から午後9時まで(年中無休)
2	電話番号等	電話 042-770-7777 ファクス 042-770-7766
3	サービスの範囲	主に市政等に関する問合せへの対応、各種事業の申込受付
4	運営方法	民間委託
5	FAQの整備	市民が24時間市政等の情報を得ることができるFAQ(よくある質問と回答)を整備

利用実績

(令和2年4月～令和3年3月)

コールセンター 利用件数	合計	電話(応答)	電子メール	ファクス
	111,728	110,679	1,024	25

(8) AIスタッフ総合案内サービス

行政サービスの手続きや制度に関する問合せにAI（人工知能）が自動で回答する、AIスタッフ総合案内サービスを運用した。

利用実績

(令和2年4月～令和3年3月)

AIスタッフ総合案内サービス利用状況	利用件数（質問したユーザー数）	質問数（ユーザーが質問した回数）
	17,758	36,165

(9) 市民通報アプリ「パッ！撮るん。」

市が管理する施設の破損状況等について、スマートフォンのカメラ・GPS機能を利用して市民が手軽に通報できるアプリケーションソフトとして、市民通報アプリ「パッ！撮るん。」を運用した。

通報実績

(令和2年4月～令和3年3月)

市民通報アプリ 通報件数	合計	道路	公園	河川	下水道	放置自転車等
	777	697	41	1	20	18

アプリダウンロード件数（平成26年試験運用期間を含む累計）

区分	令和3年3月末時点
ダウンロード数	9,892

オリンピック・パラリンピック推進

1 東京2020・さがみはらプロジェクト推進本部

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、関係自治体等との連携や協力を更に進めるとともに、本市のスポーツ・文化の振興、魅力の発信等を通じて本市の発展を図るため、「東京2020・さがみはらプロジェクト推進本部(通称「さがプロ2020」)」において取組を進めた。

令和2年3月に新型コロナウイルス感染症の影響により、大会を1年間延期することが決定された。

令和2年度においては、大会に向けた機運醸成のため、大会の開催1年前を記念したライトアップ等を実施した。

2 自転車ロードレース競技の開催に向けた調整

平成30年8月に、自転車ロードレース競技のコースの一部が市内に設定された。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や関係自治体等と連携し、競技の実施に向けた準備を着実に進めるとともに、広く市民に対し、競技の魅力や市内コースを紹介した。

令和2年度においては、11月14日に「さがみはらサイクルフェスティバル2020 Road to Tokyo 2020+1～」をオンラインで開催した。また、2021 ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージの開催に向け、関係機関等と連携し、準備を進めた。

3 オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルの開催に向けた調整

オリンピック聖火リレーのセレブレーション会場として橋本公園が設定されたほか、市内ルートとして2区間が設定された。開催に向けて、神奈川県等と連携し、準備を進めるとともに、広く市民に対し、市内ルート等をPRした。

パラリンピック聖火フェスティバルでは、パラリンピック聖火の元となる火を採火する採火式を県内全市町村で実施することが決定した。

4 外国選手団の事前キャンプ受入れをはじめとするホストタウン交流事業

令和2年度においては、大会の延期に伴い、ブラジル連邦共和国及びカナダの事前キャンプ受入れに係る協定書の有効期限の延長等を定めた合意書を締結するなど、受入れに向けた協議を進めた。

東京事務所

1 所在地と設置日

東京都千代田区平河町2丁目4番1号 日本都市センター会館12階（昭和63年4月1日設置）

2 中央省庁その他諸機関との連絡調整

本市行政の政策形成や施策の円滑な推進を図るため、中央各省庁その他機関への陳情・要望活動の支援等を行った。

要望活動件数

（単位：件）

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	49	50	43

3 市政に関連のある情報、資料の収集及び提供

本市行政に必要な情報の収集、諸会議への出席、担当部署への情報提供等を行った。

・令和2年度 収集した情報の件数 1,219 件

担当部署へ提供した情報の省庁別内訳（内容が複数の省庁に関係する場合はそれぞれに計上）

関係省庁	件数	関係省庁	件数
総務省関係	137	内閣官房・内閣府関係	228
厚生労働省関係	480	文部科学省関係	101
経済産業省関係	75	環境省関係	32
国土交通省関係	103	その他	223
農林水産省関係	38	コロナ関連	245
		合計	1,662

・令和2年度 資料収集等のための会議等出席件数 60 件

4 本市施策の紹介、宣伝等広報事業の実施

本市における施策及び施設の紹介、イベントのPR等を行った。

- ・令和2年度 広報紙等配布件数 延べ1,989件(国会議員、各東京事務所、省庁関係者)
- ・都市PRコーナー（日本都市センター会館内）におけるポスターの掲示及びパンフレットの配架
- ・東京都心における本市の認知度の向上を目的としたPRポスターを制作し、国土交通省のエントランスや、鉄道駅等に掲出した。